



2015年(平成27年)6月5日[金曜日]

- [文字サイズ 小](#)
- [文字サイズ 中](#)
- [文字サイズ 大](#)



※NHKサイトを離れます

NHK京都府のニュース 京都放送局

ことばの抑揚変換技術を公開



人が発したことばの抑揚を自在に変化できる最新の研究成果が、けいはんな学研都市がある精華町で公開されています。

この技術は、精華町にある「NTTコミュニケーション科学基礎研究所」が研究

を進めているもので、4日と5日の2日間、一般公開が行われています。

まず、人の声帯が震えるときに出る周波数をコンピューターで分析して抑揚の数値をグラフ化し、それを調節することで自然な話し方を保ったまま抑揚を自在に変えることができます。

例えば「夏になって暑い」という時の「あつい」という単語を機械のマイクで収録し「あ」の音の高さを上げると「あ・つい」と関西弁のようなイントネーションにすることができます。

研究所は、この仕組みを応用すれば発声が困難な人のことばを聞き取りやすくするなど社会の役立つ可能性が十分あるとして、システムの精度を上げる研究を続けるとしています。

「NTTコミュニケーション科学基礎研究所」の亀岡弘和特別研究員は「コンピューターがことばをより自然に変換できるようにすることがいちばんの目標です。今後も1歩ずつ研究を進めていきたいです」と話しています。

06月04日 17時36分

Copyright NHK(Japan Broadcasting Corporation) All rights reserved. 許可なく転載することを禁じます。

このページは受信料で制作しています。